

○2024年12月期第3四半期 損益計算書

- ・ 当第3四半期累計では、分譲マンションの売上・粗利益が増加したこと等により、増収増益となりました。
- ・ 営業収益は3,598億円、前年同期比1,216億円の増収、通期予想に対する進捗率は77%となりました。営業利益は616億円と前年同期比185億円の増益、通期予想に対する進捗率は80%、事業利益は618億円と前年同期比153億円の増益、修正予想に対する進捗率は79%となりました。
- ・ 営業外収益は50億円と、持分法投資利益の減少等により、前年同期比21億円の減少、営業外費用は132億円と、不動産特定共同事業分配金の増加等により、前年同期比68億円の増加、経常利益は534億円と、前年同期比96億円の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は355億円と、前年同期比64億円の増益となりました。

○2024年12月期第3四半期 貸借対照表

- ・ 総資産は2兆407億円と、前期末比1,354億円の増加、有利子負債は1兆2,259億円と、前期末比1,369億円の増加、純資産は5,340億円と、前期末比259億円の増加となりました。
- ・ 自己資本比率は25.6%、DEレシオは2.3倍、ネットDEレシオは2.2倍となっております。

○ビル事業

- ・ 当第3四半期累計では、投資家向け物件売却の売上の増加等により、営業収益は1,117億円と、前年同期比197億円の増収となりましたが、再開発エリア内の固定資産の取得費用や今期竣工物件の初期コストの増加等により、事業利益は249億円、前年同期比1億円の増益となりました。
- ・ 投資家向け物件売却については、5物件、営業収益で200億円、売却益として41億円計上しております。
- ・ 9月末時点の平均賃料・稼働率については、それぞれ坪単価28,447円、97.3%となっており、引き続き高水準を維持しております。
- ・ 投資家向け売却用の物件取得については、今期は物流施設ほか10件の新規プロジェクトの取得が新たに決定しており、総投資額ベースで約4,850億円までストックが拡大しております。

○住宅事業

- ・ 当第3四半期累計では、分譲マンションおよび投資家向け物件売却による売上・粗利益の増加等により、営業収益は1,967億円と、前年同期比1,086億円の増収、事業利益は374億円と、前年同期比201億円の増益となっております。
- ・ 投資家向け物件売却については、賃貸マンション6物件、営業収益で130億円、売却益として26億円計上しております。

- ・ 分譲マンションの計上戸数は1,588戸、粗利益率は29.2%と引き続き好調な水準を維持しております。竣工在庫は前期末から30戸減少し151戸となりました。分譲マンションの販売状況は引き続き好調に推移しており、第3四半期末時点の契約進捗率は、通期計上予定戸数1,740戸に対して98%となっています。
- ・ ランドバンクは前期末から1,200戸積み増し、今期計上予定の1,740戸を含めて約8,800戸となりました。
- ・ 投資家向けの賃貸マンションについては、今期は13件の新規プロジェクトの取得が決定しており、総投資額ベースで約1,050億円までストックが拡大しております。

○アセットサービス事業

- ・ 当第3四半期累計では、買い取り仲介・バリューアッドを手掛けているアセットソリューションにおいて、投資家向け物件売却の売上・粗利益が減少したこと等により、営業収益は359億円と、前年同期比42億円の減収、事業利益は69億円と、前年同期比3億円の減益となりました。
- ・ アセットソリューションにおける物件売却では、営業収益69億円、売却益として13億円計上しております。
- ・ 駐車場事業は、営業収益182億円と、前期比7億円の増収となりました。
- ・ 駐車場の管理車室数は85,129車室と、前期末比2,587車室増加しました。

○その他

- ・ 当第3四半期累計では、前期に保育事業および人材派遣事業の運営子会社株式を譲渡した影響、海外事業における持分法投資利益の減少等により、営業収益は154億円と、前年同期比24億円の減収、事業利益は20億円と、前年同期比30億円の減益となりました。

以上